

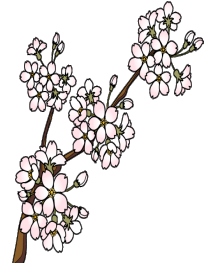


福島県立梁川高等学校
学校だより
知性 誠実 責任
第 1 号
令和4年4月8日（金）

令和4年度着任式及び第1学期始業式

4月8日（金）梁川高校の令和4年度がスタートしました。今回の人事異動により、4名の教職員が転出し、新たに次の5名が本校の教職員となりました。

教頭	國分 茂男（地歴公民）	福島東高等学校より
教諭	鈴木 高清（商業・情報）	福島商業高等学校より
教諭	横山 香織（英語）	橘高等学校より
実習教諭	佐藤 友恵（理科）	白河高等学校より
常勤講師	石田 正彦（国語）	伊達中学校より



今年度の梁川高校は、総勢34名の教職員で創立103年目を迎える学校を運営していきます。

着任式に続き令和4年度第1学期始業式が行われ、校長から以下のような話をしました。

いよいよ今日から令和4年度が始まります。梁川高校としては最後の年度となります。3年生24名にとっては、梁川高校最後の卒業生となります。2年生17名にとっては令和5年度に統合してできる伊達高校最初の卒業生となります。今年で103年という長い歴史を持つ梁川高校の大きな節目に皆さんは在籍しています。そして、来週11日には12名の新生を迎え、合計53名で今年の学習活動、部活動、生徒会活動などを積極的に行ってほしいと思います。

このように大きな期待を持ちながら様々な活動に取り組んでほしいと思って今年度の準備していた矢先、3月16日の福島県沖を震源とする震度6強の地震が発生しました。幸いにもこの地震で皆さんをはじめ本校の関係者について、人的被害がなかったことに関してはほっとしていますが、本校では体育館の照明が落下するなどの被害がでました。更に伊達地区では伊達橋や伊達崎橋が破損し交通にも影響が出ています。そして、阿武隈急行も全線で不通となり、皆さんの登下校にも大きな支障が出ている状況です。また、新型コロナウイルス感染症においては、本県の1日での感染者数が2日連続で600人を超え過去最高を更新しました。県内の県立高校でもクラスターが発生しており今後の感染拡大にも注意が必要となっています。

このように様々な困難が今まさに起きていますが、学校での活動は今まで以上に感染対策を徹底し、行事の持ち方など皆さんと先生方とで話し合った上で、工夫しながら実施していければと考えています。これらの困難を乗り越えていくことは、皆さんがこれからの人生を生き抜く力になると思います。この梁川の校舎で3学年が揃う最後の年になります。皆さん生徒と教職員が一体となってこれらの困難に立ち向かい、充実した1年を送れることを期待して校長からの話とします。